

(別紙2)

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年6月24日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3970101923
法人名	有限会社 ケアコミュニケーション
事業所名	グループホーム ぐりーんはうす
所在地	〒781-0250 高知県高知市瀬戸2丁目13番47号
自己評価作成日	平成22年2月1日
評価結果市町村受理日	平成22年8月13日

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成22年3月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaigo.pipnikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3970101923&amp;SCD=320">http://kaigo.pipnikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3970101923&amp;SCD=320</a>
-------------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ホームでは、基本理念に掲げる「笑顔の絶えない生活、その人らしさを大切に生きがいのある生活」と「地域交流、地域貢献」を目指し、日々のケアに取り組んでいます。認知症対応研修に2年間参加し、「水・飯・くそ・運動」に取り組み、その人らしい暮らしの成果も出てきています。また、毎月3回、理学療法士の指導で「どこでもリハビリテーション」を行い、筋力の低下防止に取り組んでいます。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

清閑な住宅地域にある木造2階建ての事業所で、天然木がふんだんに使われ、木の持つ温もりと優しい香りに包まれ、利用者の快適な生活環境が整っている。職員も自己研鑽に努め、介護業務にやりがいと自信を持ち、日々のケアに取り組んでいる。月3回の機能訓練を通じて筋力低下の防止の支援や、散歩や花見、外食、ドライブなど外出による気分転換を積極的に取り入れている。また、併設のデイサービスセンターとの合同行事への地域住民の参加や、いきいき百歳体操を通じて、参加者の知人と馴染みの関係を継続するよう支援しており、今後も地域に溶け込んだ事業所としての期待が持てる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔のたえない生活を目指します」「その人らしさを大切にします」「生きがいのある生活を支援します」「地域と交流し、共に歩み地域の皆様に貢献できる施設を目指します」を基本理念として職員で共有し実現に向けて取り組んでいる。	地域密着型サービスとしての独自に作られた理念があり、毎月の職員会やフロア会で理念について確認し、日々のケアにつなげている。	
2	2	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域交流ふれあいコーナーでいきいき百歳体操やかみかみ体操を開催し、参加者と交流したり、散歩や買い物時に地域住民と挨拶を交わすなど交流している。	町内会に加入し、公園の清掃活動などに参加するとともに、事業所の餅つきや夏祭りなどの行事に地域住民も参加したり、いきいき百歳体操等に利用者も参加し交流している。	
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症についての勉強会を開催したり、看護学生の受け入れを行っている。	/	/
4	3	<b>○運営推進会議を活かした取り組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	評価結果等について、運営推進会議で報告と説明を行い、委員からの質問や意見、要望等を受けサービスの向上に活かしている。	事業所から運営状況や評価結果について報告し、委員から意見や要望が出されている。意見等は職員間で共有してフロア会でも話し合い、サービスの向上や改善に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<b>○市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市主催の研修会や事例検討会などに参加し、行政の担当者との情報交換を行っている。	ケアの内容等について、市の地域包括支援センターに報告、相談したり、事例検討会で情報交換するなど、行政の担当者との協力関係を築いている。	
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会の勉強会や外部研修内容の伝達を行い、スタッフ全員への周知、理解、認識を徹底して拘束のないケアに取り組んでいる。また、玄関にセンサーを設置して鍵は掛けないようにしている。入居者の耳障りにならないよう音量にも配慮し、家族にも理解を得ている。	身体拘束に関する外部研修や事業所内研修を通じて、職員の理解を徹底し、拘束のないケアに取り組んでいる。日中は玄関を施錠せず、利用者の外出の習慣や傾向を把握し、見守りながら支援している。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に関する講演会に参加し、それを基に事業所内研修を実施して虐待防止に関する理解を周知、徹底している。また、虐待防止委員会を設け、言葉の虐待等にも職員同士で注意し合って防止に取り組んでいる。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者は権利擁護制度に関する研修に参加しており、職員も制度の内容を十分に理解している。入居時に説明し、対応が必要な場合は支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に、重要説明事項や重度化・看取り対応、医療連携体制加算等についてなど詳しく説明している。また、入居者の状態変化により契約解除に至る場合は、本人、家族を交えて対応方針を相談している。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を設けて、意見を伺える機会を作っている。日頃から意見を出しやすい雰囲気づくりに配慮し、意見等を前向きに受け止め改善に取り組んでいる。また、契約時に運営推進会議や市の相談窓口について説明している。	家族会では家族のみで話し合う機会も持ち、利用者や家族からの要望等も出されている。また、運営推進会議に家族の代表が出席し、質問したり意見、要望を出せる場となっており、意見等は職員間で共有し、運営に反映させている。	
11	7	<b>○運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の職員会において、職員からの提案、意見を聞いている。また、連絡ノートにも意見を記入できるようにし、ミーティングを行い対処している。	職員会やフロア会で職員の意見、提案が出され、管理者が企画書として取りまとめ法人に提出し、運営に反映させる仕組みがある。	
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、常日頃から管理者や職員との対話を心掛け、職場にも出向き、利用者の方々とも触れ合い、業務内容を把握している。休憩室の確保や年1回の健康診断、資格取得に対する協力支援などに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<b>○職員を育てる取組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修委員を中心に年間の研修計画を立て、職員の経験等に応じて研修に参加している。研修内容は報告を受け、職員間で共有するとともに、職員一人ひとりが目標を立てて取り組むチャレンジシートを活用しスキルアップに努めている。		
14		<b>○同業者との交流を通じた向上</b> 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他事業所を見学し、学習や交流を図り事業所のケアに活かしている。グループホーム連絡会に所属しており、事例検討会で情報交換も行っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<b>○初期に築く本人との信頼関係</b> サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談では生活状況を把握し、必ずご本人にお会いして心身の状態や思いを受け止め、職員を受け入れて頂けるように取り組んでいる。		
16		<b>○初期に築く家族等との信頼関係</b> サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の希望や要望、不安や質問等を十分にお伺いし、事業所としてできることを説明し、信頼関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		<b>○初期対応の見極めと支援</b> サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の思いや状況などを確認し、場合によっては地域包括支援センターや他事業所のサービスにつなげる等の対応を行っている。		
18		<b>○本人と共に過ごし支え合う関係</b> 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の好きなことや出来ることを積極的に行ってもらい、人生の先輩として色々な話を傾聴することによって、潜在的な能力を見出し継続できるようにしている。		
19		<b>○本人と共に支え合う家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者の暮らし振り等について、定期的に家族に連絡し、必要に応じて相談したり対応するなど、共に支え合う関係を築いている。		
20	8	<b>○馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうよう、支援に努めている	自宅の前を散歩コースに入れて、近所の方々との語り合える場を提供したり、知人、友人が面会に訪れた際は、ゆっくり話しができるように配慮している。	馴染みの洋服店や美容院に出かけたり、利用者の自宅近くまで車で行くなどしている。また、散歩の途中で近所の知り合いに声をかけてもらうなど、馴染みの関係継続を支援している。	
21		<b>○利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	トラブル発生時には双方の話を傾聴し、職員は寄り添い、さり気なく仲介している。また、歌や簡単なゲーム遊び、ビデオ鑑賞をする中でも、職員は利用者同士の仲介をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		<b>○関係を断ち切らない取組み</b> サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も、時折ご本人やご家族から連絡があったり、入院されている方には様子を伺いに行っている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<b>○思いや意向の把握</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の暮らしの中で、本人の希望や思いを把握している。把握が困難な場合には、家族の意見を聞き、本人の立場に立ってカンファレンスを行っている。	利用者の好むことや思いを理解し、散歩に行ったり図書館に出かけるなど、利用者の希望に沿った支援に努めている。コミュニケーションが取れない利用者は家族から情報を得て、検討している。	
24		<b>○これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に利用者の生活歴等について聞き取り、入居後も本人や家族からその都度聞き取るなど、把握に努めている。		
25		<b>○暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の出来ること、出来ないことなどの残存能力や心身の状態について、気づきノートや日々の記録、申し送りを通じて、本人の現状を総合的に把握するよう努めている。		
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族の面会時を捉えて、意見や要望を聞き、介護計画に反映させるように努めている。	家族から意見等を聞き、職員の気づき等も踏まえ、カンファレンスを行い、介護計画を作成している。基本的には3カ月毎に見直しているが、家族からの要望や身体的な変化がある時にはその都度見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランの実施状況表や個人日誌、申し送りノートを用いて職員間で情報を共有し、介護計画に取り入れている。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族の受診同行が困難になった場合は、訪問診療の支援が受けられるようにしている。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議の委員や地域の民生委員、町内会長の参加を得て、警察署による交通安全教室や年2回の消防訓練を行ったり、利用者と一緒に図書館に本を借りに行くなどしている。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診診断</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。基本的に受診は家族同行としているが、できない時は職員が支援している。受診困難な場合は本人、家族の同意を得て医療連携機関の訪問診療を受けるようにしている。	利用者、家族が希望するかかりつけ医に受診できるよう支援している。通院介助は基本的に家族の対応としているが、都合に応じて職員が介助したり、協力医の往診を受けている。受診結果は、家族から報告を受け、記録簿や申し送り等で情報を共有している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p><b>○看護職員との協働</b></p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>事業所に数名の看護師が常駐しており、利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行っている。24時間対応も可能となっている。</p>		
32		<p><b>○入退院時の医療機関との協働</b></p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>家族と相談しながら医療機関に本人に関する情報を提供し、医師と話し合いを持ち、事業所での対応可能な段階で早く退院できるようにするなど、医療関係者との関係づくりに努めている。</p>		
33	12	<p><b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b></p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に重度化した場合における対応指針について説明を行い、同意を頂いている。さらに地域の医療機関との協議、相談も行っている。</p>	<p>看取りの指針について、入居時に利用者と家族に説明し、同意書をもっている。これまで看取りの事例はないが、今後、利用者、家族の希望等があれば、医療関係者とも連携し、利用者、家族が安心して納得した最期を迎えられるよう支援できる体制が整っている。</p>	
34		<p><b>○急変や事故発生時の備え</b></p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>フロア会で急変時の対応を学習し、周知している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、消防署の協力を得て、地域の方々にも声かけをして避難訓練を実施している。	地域住民の参加、協力を得て、年2回の防災訓練を行っている。災害時の避難経路を確認しマニュアル化しており、非常用の食料等も高知県社会福祉施設地震防災対策マニュアルに示す目安量が確保できている。	
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<b>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</b> 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者を人生の先輩として敬い、馴れ合いにならないよう、言葉使いに気を配っている。	トイレ誘導はさりげなく声かけしたり、他の家族の前では利用者の話はしないようにするなど、利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応について、職員間で話し合い徹底している。	
37		<b>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定ができるよう時間を持ち、ドライブや買い物などの行事設定をしている。また、意思表示が不十分な場合でも、表情や行動から本人の意向を汲み取っている。	/	/
38		<b>○日々のその人らしい暮らし</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活のリズムを大切にしながら支援している。介護を必要とする利用者の支援にあたって、本人承諾のもとであっても、職員側のペースになっていないか常に注意している。	/	/
39		<b>○身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日々の服装は、声かけをしながら本人に選んでもらうようにしている。また、行きつけの美容院にも行っている。	/	/

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<b>○食事を楽しむことのできる支援</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に食事の準備をして、同じテーブルで食べ、皆で協力して片付けもしている。	利用者の能力に応じて、調理や配膳、片付けなど、職員と一緒にいき、職員は、利用者と同じテーブルで同じ物を食べながら、和やかな雰囲気づくりに努めている。	
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分補給に気を配り、チェックシートへ記入している。体重測定も毎月行い、栄養士が献立やカロリーチェックをしてカロリーの摂り過ぎや低カロリーにならないようにしている。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声かけや見守りで支援しつつ、口腔内マッサージを専用歯ブラシで行い感染予防に努めている。また、必要に応じて家族の協力で歯科受診をしている。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表にて失禁のチェックをして排泄のパターンを把握し、声かけにて支援している。	排泄チェック表で利用者一人ひとりの排泄パターンと習慣を把握し、できるだけトイレで排泄するよう支援している。	
44		<b>○便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取や運動、食物繊維のある食材の使用など、自然排便に向けた様々な工夫をしており、個々にプランを立てて取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p><b>○入浴を楽しむことができる支援</b></p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>声かけや見守り介助の必要な方には、転倒に気を配り不安の軽減に努めている。入浴拒否の方もおられるが無理強いせず清潔保持のために週2回は入浴できるよう働きかけ支援し、重度の方でも浴槽で入浴するよう対応している。</p>	<p>利用者の希望に沿って入浴できるよう支援しており、希望があれば夜間の入浴もしている。入浴拒否の利用者には、声かけなど工夫しながら、部分浴も含んで週に2回は入浴するよう支援している。</p>	
46		<p><b>○安眠や休息の支援</b></p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>寒い時などは、膝かけを使用してテレビを見ながらフロアでゆっくり過ごして頂いている。また、水分摂取量を多くし、起床時間を長くすることで夜間の不眠も少なくなっている。</p>		
47		<p><b>○服薬支援</b></p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>利用者毎の薬の説明を日誌のカードケースに入れ、薬の目的、用法、副作用等を確認して誤薬や飲み忘れの無いように支援している。変化が生じた場合は、家族、医師、看護師に連絡を取っている。</p>		
48		<p><b>○役割、楽しみごとの支援</b></p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>編み物や読書など、その人の好きなことや、できることを積極的に行ってもらえるよう支援している。また、外食等も取り入れ気分転換を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>ホームに閉じこもらないように、全員が週3回以上は周辺を散歩したり、外食、ドライブ、季節の行事などを毎月積極的に行い、家族の参加も得ている。</p>	<p>利用者一人ひとりの希望に合わせて、散歩や買い物に行ったり、時には外食を楽しむなど支援している。また、季節に合わせて弁当を持参のうえ、花見や行楽に出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>スーパーマーケットやコンビニエンスストア等へ出かける際、預かっているお金を渡して買物支援をしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>利用者から要望があれば、いつでも電話できるようにしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>日当たりの良い場所で、入居者の方たちが自然に集まり談笑して過ごしている。季節の行事に合わせた飾りつけを利用者と一緒に行うなど、和やかな雰囲気づくりの工夫をしている。</p>	<p>居間には、四季に応じて利用者と一緒に作った作品などを飾り、一般家庭にあるような馴染みのソファを置くなど、利用者同士が和みながらゆっくりくつろげるよう配慮している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>事業所内には特別高価な調度品ではなく何処にでもあるような家庭的で馴染みのあるものを置いている。居間にはテレビとソファを配置し、いつでも自由に思い思い過ごせるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた家具等を持ち込み、入居者の方も戸惑いなく使用している。家族と一緒に配置を工夫するなど、それぞれ個性ある居室となっている。作りをされている。</p>	<p>居室は、利用者の希望により使い慣れたタンスや置物、家族写真などを飾り、利用者が居心地のよく過ごせるよう思い思いの個性のある配置となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>誤認や錯覚はないが、日中は明るく開放的に、夜は適度に廊下等の照明を調節し、トイレ・居室には目印を付け、移動時に分りやすく、不安を招くことのないようにするなど、入居者が日々自立して暮らせるよう見守っている。</p>		

V アウトカム項目		ユニット名： (あ お ぞ ら )	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔のたえない生活を目指します」「その人らしさを大切にします」「生きがいのある生活を支援します」「地域と交流し、共に歩み地域の皆様に貢献できる施設を目指します」を基本理念として職員で共有し実現に向けて取り組んでいる。		
2	2	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域交流ふれあいコーナーでいきいき百歳体操やかみかみ体操を開催し、参加者と交流したり、散歩や買い物時に地域住民と挨拶を交わすなど交流している。		
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症についての勉強会を開催したり、看護学生の受け入れを行っている。		
4	3	<b>○運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	評価結果等について、運営推進会議で報告と説明を行い、委員からの質問や意見、要望等を受けサービスの向上に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	市主催の研修会や事例検討会などに参加し、行政の担当者との情報交換を行っている。		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	身体拘束廃止委員会の勉強会や外部研修内容の伝達を行い、スタッフ全員への周知、理解、認識を徹底して拘束のないケアに取り組んでいる。また、玄関にセンサーを設置して鍵は掛けないようにしている。入居者の耳障りにならないよう音量にも配慮し、家族にも理解を得ている。		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	虐待防止に関する講演会に参加し、それをもとに事業所内研修を実施して虐待防止に関する理解を周知、徹底している。また、虐待防止委員会を設け、言葉の虐待等にも職員同士で注意し合っており取り組んでいる。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	管理者は権利擁護制度に関する研修に参加しており、職員も制度の内容を十分に理解している。入居時に説明し、対応が必要な場合は支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に、重要説明事項や重度化・看取り対応、医療連携体制加算等についてなど詳しく説明している。また、入居者の状態変化により契約解除に至る場合は、本人、家族を交えて対応方針を相談している。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を設けて、意見を伺える機会を作っている。日頃から意見を出しやすい雰囲気づくりに配慮し、意見等を前向きに受け止め改善に取り組んでいる。また、契約時に運営推進会議や市の相談窓口について説明している。		
11	7	<b>○運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の職員会において、職員からの提案、意見を聞いている。また、連絡ノートにも意見を記入できるようにし、ミーティングを行い対処している。		
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、常日頃から管理者や職員との対話を心掛け、職場にも出向き、利用者の方々とも触れ合い、業務内容を把握している。休憩室の確保や年1回の健康診断、資格取得に対する協力支援などに努めている。		
13		<b>○職員を育てる取組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修委員を中心に年間の研修計画を立て、職員の経験等に応じて研修に参加している。研修内容は報告を受け、職員間で共有するとともに、職員一人ひとりが目標を立てて取り組むチャレンジシートを活用しスキルアップに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	他事業所を見学し、学習や交流を図り事業所のケアに活かしている。グループホーム連絡会に所属しており、事例検討会で情報交換も行っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	事前面談では生活状況を把握し、必ずご本人にお会いして心身の状態や思いを受け止め、職員を受け入れて頂けるように取り組んでいる。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	ご家族の希望や要望、不安や質問等を十分にお伺いし、事業所としてできることを説明し、信頼関係を築いている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	ご本人の思いや状況などを確認し、場合によっては地域包括支援センターや他事業所のサービスにつなげる等の対応を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		<b>○本人と共に過ごし支え合う関係</b> 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物をたたむなど一緒に行い、人生の先輩として色々な話を傾聴することにより、潜在的な能力を見出し継続できるようにしている。		
19		<b>○本人と共に支え合う家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者の暮らし振り等について、定期的に家族に連絡し、必要に応じて相談したり対応するなど、共に支え合う関係を築いている。		
20	8	<b>○馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	買い物の帰りに自宅によって庭の様子を見てきたり、近所の方が来訪された時にはゆっくり話して頂けるよう支援している。		
21		<b>○利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	トラブル発生時には双方の話しを傾聴し、職員は寄り添い、さり気なく仲介している。また、歌や簡単なゲーム遊び、ビデオ鑑賞をする中でも、職員は利用者同士の仲介をしている。		
22		<b>○関係を断ち切らない取組み</b> サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も、時折ご本人やご家族から連絡があったり、入院されている方には様子を伺いに行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の暮らしの中で、本人の希望や思いを把握している。把握が困難な場合には、家族の意見を聞き、本人の立場に立ってカンファレンスを行っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に利用者の生活歴等について聞き取り、入居後も本人や家族からその都度聞き取るなど、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の記録や申し送り、アセスメントを通して本人の現状を総合的に感じ取り、出来ることと出来ないことの把握や、出来る可能性及び心身の状態の把握に努めるようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族の面会時を捉えて、意見や要望を聞き、介護計画に反映させるように努めている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランの実施状況表や個人日誌、申し送りノートを用いて職員間で情報を共有し、介護計画に取り入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>家族の受診同行が困難になった場合は、訪問診療の支援が受けられるようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議の委員や地域の民生委員、町内会長の参加を得て、警察署による交通安全教室や年2回の消防訓練を行ったり、利用者と一緒に図書館に本を借りに行くなどしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。基本的に受診は家族同行としているが、できない時は職員が支援している。受診困難な場合は本人、家族の同意を得て医療連携機関の訪問診療を受けるようにしている。</p>		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>事業所に数名の看護師が常駐しており、利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行っている。24時間対応も可能となっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	家族と相談しながら医療機関に本人に関する情報を提供し、医師と話し合いを持ち、事業所での対応可能な段階で早く退院できるようにするなど、医療関係者との関係づくりに努めている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化した場合における対応指針について説明を行い、同意を頂いている。さらに地域の医療機関との協議、相談も行っている。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	フロア会で急変時の対応を学習し、周知している。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、消防署の協力を得て、地域の方々にも声かけをして避難訓練を実施している。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	職員は、利用者の人格・誇りを理解、尊重し、心に届くような声かけをするなど、誇りやプライバシーを損ねない支援をしている。		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	自己決定ができるよう時間を持ち、ドライブや買い物などの行事設定をしている。また、意思表示が不十分な場合でも、表情や行動から本人の意向を汲み取っている。		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	利用者の生活のリズムを大切にしながら支援している。介護を必要とする利用者の支援にあたって、本人承諾のもとであっても、職員側のペースになっていないか常に注意している。		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	日々の服装は、声かけをしながら本人に選んでもらうようにしている。また、行きつけの美容院に行き、本人の好みで浴うよう支援している。		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	利用者と職員と一緒に食事の準備をして、同じテーブルで食べ、皆で協力して片付けもしている。希望に応じておにぎりやふりかけなどの準備もしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分補給に気を配り、チェックシートへ記入している。体重測定も毎月行い、栄養士が献立やカロリーチェックをしてカロリーの摂り過ぎや低カロリーにならないようにしている。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声かけや見守りで支援しつつ、口腔内マッサージを専用歯ブラシで行い感染予防に努めている。また、必要に応じて家族の協力で歯科受診をしている。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表にて失禁のチェックをして排泄のパターンを把握し、声かけにて支援している。		
44		<b>○便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取や運動、食物繊維のある食材の使用など、自然排便に向けた様々な工夫をしており、個々にプランを立てて取り組んでいる。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	声かけや見守り介助の必要な方には、転倒に気を配り不安の軽減に努めている。入浴拒否の方もおられるが無理強いせず清潔保持のために週2回は入浴できるよう働きかけ支援し、重度の方でも浴槽で入浴するよう対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心 して気持ちよく眠れるよう支援して いる</p>	寒い時などは、膝かけを使用してテ レビを見ながらフロアでゆっくり過 ごして頂いている。また、水分摂取量 を多くし、起床時間を長くすることで夜 間の不眠も少なくなっている。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の変 化の確認に努めている</p>	利用者毎の薬の説明を日誌のカード ケースに入れ、薬の目的、用法、副作 用等を確認して誤薬や飲み忘れの無い ように支援している。変化が生じた場 合は、家族、医師、看護師師に連絡を 取っている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 せるように、一人ひとりの生活歴や 力を活かした役割、嗜好品、楽しみ ごと、気分転換等の支援をしている</p>	洗濯物をたたんだり、お茶を袋詰め にするなど、入居者が出来ることを一 緒にしてもらい、その都度感謝の気持 ちを伝えるようにしている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援に 努めている。また、普段は行けない ような場所でも、本人の希望を把握 し、家族や地域の人々と協力しなが ら出かけられるように支援している</p>	ホームに閉じこもらないように毎日 の周辺の散歩や買い物に出かけ、希 望に応じてドライブしたり、家族の参加 も得て、季節に応じた催しや行楽な ど、積極的に支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>スーパーマーケットやコンビニエンスストア等へ出かける際、預かっているお金を渡して買物支援をしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>利用者から要望があれば、いつでも電話できるようにしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>日当たりの良い場所で、入居者の方たちが自然に集まり談笑して過ごしている。季節の行事に合わせた飾りつけを利用者と一緒に行うなど、和やかな雰囲気づくりの工夫をしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>事業所内には特別高価な調度品ではなく何処にでもあるような家庭的で馴染みのあるものを置いている。居間にはテレビとソファを配置し、いつでも自由に思い思い過ごせるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた家具等を持ち込み、入居者の方も戸惑いなく使用している。家族と一緒に配置を工夫するなど、それぞれ個性ある居室となっている。作りをされている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>誤認や錯覚はないが、日中は明るく開放的に、夜は適度に廊下等の照明を調節し、トイレ・居室には目印を付け、移動時に分りやすく、不安を招くことのないようにするなど、入居者が日々自立して暮らせるよう見守っている。</p>		

V アウトカム項目		ユニット名： ( ひかり )	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない